

## 週日の説教

金 大烈 神父 2008年8月12日(火)

### 《子供のような心で神さまにゆだねましょう》

今日の福音(マタイ 18・1-5、10、12-14)では、「子供のようにならないと天の国に入れない」とあります。新約聖書を読むと何度も出てくる言葉です。これはどういう意味でしょうか? 「子供のようになる」とはどういうことなのか、今まで何度も説明をしましたね。一言で「子供のように」といっても、子供も一人一人みんな違います。悪知恵が発達しておとなより悪い考え方をする子もいます。いつもうるさいくらい泣いてばかりの子もいます。一人一人違った性格を持って生まれて来ています。

しかしイエス様は、このような「子供のようにならないと天の国には入れないとおっしゃいます。私たちは、子供からどのようなことを習わなくてはならないのでしょうか?

あらゆる子供の共通点は、親が、特に母親がいないと不安になることです。赤ちゃんを見てください。目が覚めたときに自分が母親に抱きしめられていないことに気づいたら泣いてしまいます。イエス様がおっしゃりたかったのは、赤ちゃんが母親を考えるように、私たちは神様のことを考えなくてはいけない、ということです。私たちは、神様、イエス様に対して本当に親を思うような気持ちを持っているのでしょうか?

結局一番素晴らしい心はゆだねる心です。ゆだねることは相手を信じなければできないことです。もし人生の中にイエス様がいなかったら、もしイエス様に話しかけることができなかったら、皆様は不安な気持ちになると思います。

ではここで、性格を診断する質問をしてみましょう。1番、月に1回か2か月に1回くらい、赦しの秘跡を受けなかったら不安に陥る人はいますか? 2番、日曜日のミサに与れなかったらつらい気持ちになる人はいますか? 3番、助けを求める人に自分の手を伸ばさなかったら辛い気持ちになるんですか。(1番は手をあげる人が少なく、2、3番はほとんどの人が手をあげました)

質問のうち3分の2については、正しい信仰をもっていらっしゃいますね。でも、1番の「赦しの秘跡を受けないこと」については、なぜ気にならないのでしょうか? それは、正しく教えてもらわなかったからです。

秘跡は、7つありますね。秘跡というのは、見えない神様のこと、さわれない神様のことをキリストの力によって、人が見えるように、さわれるようにしたものです。では、7つの秘跡の中で一番価値があるのはどれでしょうか? 私たちは日曜日にミサに与って、ご聖体をいただけなかったら不安に陥りますね。それなのに、罪があるまま許しの秘跡を受けないでご聖体をいただくことは平気ですね。しかし中には、自分に罪があるとき、赦しの秘跡を受けなければ、「もし死ぬとしてもイエス様をいただくことはできない」という人もいます。そして、誰が見ても感動的な姿でイエス様をいただきます。

私たちは、秘跡についてきちんと身についていないのではないかと思います。皆様は、3つの質問のうち2つは正しく答えられました。それは可能性があることだと思います。

とにかく私たちは、「イエス様がいなかったら、神様の存在をこぼむことになったら、死にます」という気持ちを持って信仰生活をしていかなければならないと思います。

ありがとうございました。